

国語の傾向と対策

方式・日程	問題番号	出題分野	出題内容	設問形式
A I 方式 1月28日 問題▶P.93~	第一問	評論	筒井淳也 『仕事と家族』	漢字(選択) 空欄補充(副詞・接続語・適語選択) 理由把握 内容把握 主旨との合致判定 題名選択
	第二問	評論	内田 樹 『街場の文体論』	漢字(選択) 空欄補充(接続語・適語選択) 語句の意味 内容把握 内容との合致判定
A I 方式 1月29日 問題▶P.97~	第一問	評論	西きょうじ 『さよなら自己責任 生きづらさの処方箋』	漢字(選択) 空欄補充(適語選択) 四字熟語の意味 内容把握 比喩の把握 内容との合致判定
	第二問	評論	白井隆一郎 『コーヒーが廻り世界史が廻る』	漢字(選択) 空欄補充(適語・副詞選択) 語句の意味 内容把握 内容との合致判定
A II・III方式 2月15日 問題▶P.102~	第一問	評論	佐藤忠男 『見ることと見られること』	漢字(選択) 空欄補充(接続語・副詞選択) 語句の意味 内容把握 理由把握
	第二問	評論	石原千秋 『なぜ『三四郎』は悲恋に終わるのか』	漢字(選択) 空欄補充(適語選択) 内容把握 理由把握 筆者の意見
B方式 2月29日 問題▶P.106~	第一問	評論	亀田達也 『モラルの起源——実験社会科学からの問い』	漢字(選択) 空欄補充(接続語・適語選択) 類義語・対義語選択 内容把握 内容との合致判定
	第二問	評論	山口仲美 『日本語の歴史』	漢字(選択) 空欄補充(適語選択) 語句の意味 ことわざ・慣用句の意味把握 理由把握 内容把握

傾向 すべて現代文からの出題で、基本・標準レベルの問題が中心。

① 出題形式

すべて現代文からの出題で、**マークシート形式**の選択問題。基本的に四者択一の形式だが、四つ以上の選択肢がある問題や、正解を複数選ぶ問題もふくむ。マーク数は30前後。

② 出題内容

すべて評論からの出題。内容の組み合わせは枠組みにはめることができず多岐にわたっている。設問は、漢字や語句など知識を問う出題の後に、読解問題が続くという構成。漢字は、同音異字の使い分けなどを問うが、漢字の読みや対義語、類義語が問われることもある。知識問題ではことわざや四字熟語もふくむ。読解問題は、文中での意味を問う基礎的な問題から、**理由把握、内容把握、内容との合致判定、主旨との合致判定**などが出題される。題名選択の問いもある。

③ 難易度

知識問題、読解問題ともに極端な難問はなく、**基本から標準レベル**の問題である。

知識問題では、語句の意味など、問題文の内容との関連を考えた上で判断すべきものもあるが、全体的には解きやすいと思われる。読解問題は、**選択肢を選ぶ根拠が問題文の中に明示されているものがほとんど**である。文章全体から読み取った主旨や論旨を問われた場合は、傍線部周辺だけでなく、**文章全体から内容や構成、筆者の意見**をとらえることが大切である。指示語の指示内容にも注意する。また、内容と合わない選択肢や論旨と合わない選択肢を選ばせる出題方式もあるので、設問の指示をよく読んで問題に取り組むようにしたい。

対策 国語に関する総合的な知識と正確な読解力を獲得しよう。

① 論理的な文章に親しもう

物語ではなく、評論のような論理的文章が出題される傾向にあるので、**さまざまな分野の論理的文章に親しんでおく**ことが望ましい。特に、文学に関するものや、日本の社会・文化に関するものに多く触れておくとうい。新聞の社説などで、現代社会の問題を広く知るのも有効な方法だろう。

② 漢字・語句の幅広い知識を身につけよう

漢字、語句の問題は頻出。漢字は、同じ音の漢字をふくむ熟語を選ぶ形式なので、日頃から漢字の**使い分けに注意しておく**。慣用句・ことわざ・四字熟語をふくめ、語句の問題も幅広く出題されているので、**辞書をこまめに引き、意味を確認する習慣**をつけよう。

③ 正確な読解力を身につけよう

まず、**指示語の指示内容を正確にとらえる、接続語の適切な使い方**を身につけるといった基礎力を養う必要がある。指示語とその指示内容に当たる部分とを矢印で結ぶなど、文章の構造を自分なりに整理しながら読む練習をしよう。その上で、**文章の内容を丁寧に選択肢と照らし合わせる**ことができるようになろう。本文の選択肢と関係のある部分に線を引き、**選択肢の内容と比べて読む**。「筆者の主張—比喩や具体例」「対比されている内容」「キーワード」などに注意する。

④ 多くの類題に取り組もう

類題を多く解いて、**実戦力**を高めよう。多く問題を解くと、**読解のスピードアップ**も期待できる。